

岡山から日本を元気にするフリーペーパー

FREE 岡山ムーブアップ vol.21
JUL 2016

心踊る夏を、岡山へ。

SPECIAL FRONT INTERVIEW

DANCE EARTH PARTY

EXILE ÜSA / EXILE TETSUYA / Dream Shizuka



OKAYAMA MOVE UP

SPECIAL INTERVIEW-2-

武尊

K-1 FIGHTER

SPECIAL COLUMN

EXILE TETSUYA

SPECIAL FEATURE

HIGH&LOW THE MOVIE 公開直前特集

SPECIAL PHOTO REPORT
JAPAN MOVE UP special edition vol.8

岩田 剛典

EXILE / 三代目 J Soul Brothers



SPECIAL
INTERVIEW

EXILE ÜSA

DANCE EARTH PARTY がニューシングル！

EXILE パフォーマー卒業から半年。 いま、EXILE ÜSA が燃えているものとは——。

EXILE ÜSA (以下、ÜSA) が動き回っている。その足取りと云ったら、満員のドームの舞台上でアツい視線を一身に集めながらステップを踏んでいたあの時と変わらない。シャープで軽やか。知らぬ間にクギ付けになる。

とはいえ、ステップの踏み方や踏む場所には変化がある。ステージやストリートは「踊ることそのもの」や「生きること」、己のダンスや表現の探求、ダンスミュージックの追求、ダンスの楽しさの普及、多ジャンルの表現者とのコラボレーション、そして、復興支援と一つひとつのステップは大きく、重みのあるものに。一つひとつのステップが連なって一遍のダンスを作るように、さまざまなプロジェクトに参加することが、今のÜSA、今の彼の踊りを構成しているように見える。一つひとつのステップは、軽やかでしなやかだが、力

強くアツさもある。何よりも、ÜSAのダンスへの志が感じられる。

EXILEのパフォーマーを卒業して半年。別なエリアに重心を移しながら活動を展開している。8月3日には、EXILE TETSUYA、Dream ShizukaとのユニットDANCE EARTH PARTYで、ニューシングル『NEO ZIPANG〜UTAGE〜』をリリースする。世界を旅したÜSAが日本各地のお祭りを巡るなかで発想したアイデアが、約3年の月日を経て、どこにもないダンスミュージックとして完成した作品だ。「思い描いていたものができた」——そう、胸を張るÜSAが新曲について、ダンスへの想い、そしてこれからについて語る。OKAYAMA MOVE UP 総合プロデューサー、一木広治が聞く。

新しい祭りを興したい!



『NEO ZIPANG ~ UTAGE ~』は 未体験ゾーンに突入したダンスミュージック

一木：パフォーマー卒業からして、ちょうど半年になりますね。

EXILE ÜSA (以下、ÜSA)：半年ってアッという間でしたね。卒業した瞬間はやはり実感がなかったんですが、みんながそれぞれ動き始めたり、自分もDANCE EARTH PARTY (以下、DEP) の準備を始めたりして、じわじわと「卒業したんだ」と実感しました。ただ、それと一緒に、これまで以上に頑張らないといけないという気持ちが、日々心に刻まれていく感じがしています。

一木：そんな中で進められているのが最新シングル『NEO ZIPANG ~ UTAGE ~』(8月3日リリース) ですね。「日本から世界へ発信できる新しいお祭りを作りたい!」というのがコンセプトだと聞きました。

ÜSA：DANCE EARTH のプロジェクトで世界を旅し始めたのがちょうど10年前になるんですよ。そんなタイミングでこの作品を作れたのがうれしいです。いろんな国に行って、いろんなダンスを踊ってきました。その土地にはその土地のダンスがあることを知ると、自然と僕には何があるんだろうという疑問も湧き上がってきました。それで改めて日本という国を巡って見たんですが、日本にもいろんな踊りがあるじゃないか!と発見があったんです。阿波踊りがあり、ねぶたがあり、いろんな踊りがあって、お祭りがある。飛び込んでみたら、どれもかっこ良かったんです。

一木：世界を回ってきたから、もある?

ÜSA：そう思います。阿波踊りの足の運び、400年前に「これ、やったらかっこいいんじゃないか」ってやった人がいたってことですよ。あの動きって、ランニングマンにも似てるんですよ! これこそが、僕が抱えていた疑問の答えなんじゃないかと思いました。このカッコよさを広めていくために、何か形を作りたい、新しいダンスミュージックを作ろうって思ったんですよ。

一木：これまでのÜSAさんの活動を振り返ると、ダンス、踊る、表現するといった部分のイメージが強くて、「音楽を作る」となると新鮮さがありますね。

ÜSA：楽曲の発想が、いろんなお祭りを回りながら、こういう踊りがしたいから和太鼓のこういう音が欲しい、こういう音色が欲しい、またその逆の考え方があったり。そんなふうに進んでいったんです。長い時間をかけてアイデアをまとめていくなかで、世界的に活躍する和太鼓グループのDRUM TAOさん、音楽プロデューサーのbanvox (Google Android CM 楽曲のプロデュースなど) との出会いがあって、日本の伝統的な和楽器、ビートと、最先端のダンスミュージックが融合した、思い描いていた以上の作品になっていると思います。

一木：“ネオジパング”な作品ができた?

ÜSA：日本でも、外国でもない、ネオジパング。ミュージックビデオでは、ネオジパングをもっと感じてもらえると思います。

一木：世界的なデザイナーの山本寛斎さんともコラボしていると伺いました。

ÜSA：そうなんです、自分でもすごいと思います(笑)。バーで偶然寛斎さんの周辺の方にお会いして挨拶したのがスタートですからね。でもそこから早かったなあ。寛斎さんにお会いして、コラボが決まり、いろんなことが次々決まっていきました。すごいエネルギーでした!

一木：ものすごいスピード感ですが、どんなプロセスを経て?

ÜSA：伝統的な日本の音楽と最先端のダンスミュージックをという楽曲の説明はして、ただ、ネオジパングは日本だけれど日本じゃない、でも外国じゃなくて……みたいな説明だったんですけど、それをくみ取ってくれた上で、思っていた以上の衣裳が……。それで、僕たちのイメージもさらに膨らんだというか、刺激をもらったと思います。

一木：ミュージックビデオを拝見するのが楽しみになってきましたが、寛斎さんとコラボレーションと伺うと、DANCE EARTHの舞台作品の可能性も期待してしまいます。

ÜSA：舞台やりたいです。いつでも、そう思っています。今、今後のことも含めて、DEPの楽曲もたくさん作ってますしね。



3分よりもう少し先の自分が分かる男、なりたいなあ（笑）

一木：今は、新曲、お祭りを作りたいという気持ちも含めて、DEPの活動に重心が置かれている、と言えそうですね。

ÜSA：そうですね、いろいろやっていますけど、今はDEPかなあ。お祭りとしては……盆踊りもありますね。

一木：寛齋さんの？

ÜSA：ショーにも出ますよ。

一木：EXILEと寛齋さん、元気という考え方など共通点もあったので、コラボレーションの可能性はあったと思うんです。

ÜSA：このコラボ、ショーへの出演を含め、いろんな刺激をもらえたり、学べるんじゃないかと期待しています。自分がやろうとしていることに、つながる気もしています。

一木：ÜSAさんがやろうとしていること、夢や目標とも言い換えられると思うんですが、着々と現実へと向かっている、そこに向かう道が整ってきている気がします。

ÜSA：ネオジパングを表すダンスミュージックを作ることもできましたし。まだまだやりたいことはありますが、ネオジパングを広めていかないと。そのためにも、今すぐにも、お祭りを興したいですね。

一木：ÜSAさんは、これまでを振り返ってみると、EXILEで活躍することであるとか、DANCE EARTHプロジェクトで世界で踊ったり、舞台をやったり、DEPしかり、夢や目標を実現してきていると思います。今も夢や目標を追いかけ続けている人の背中を押すようなメッセージをいただけますか？

ÜSA：そうだなあ、少し先が分かる人になりたい（笑）。じゃなくて、イメージをすることって大事だよ、かな。……あの、この間、超能力者に会ったんですよ。

一木：え？

ÜSA：スプーン曲げとかができる人なん

ですけど、なぜできるかという、その人は3分先のこと、3分先に自分がどうなってるかが完璧にイメージできるっていうんです。3分後、このスプーンは曲がっている、だからこのまっすぐなスプーンは曲がる。そう信じている。だから曲がるんだそうです。3分後しか分からないから、お金持ちじゃないって笑ってましたけど。僕、これが3年後、5年後、10年後、もっと先だったとして、「できないかしのれない」って思いはまったくなくて、「できる」と思って邁進していったとしたら、間違いなく「できる」と思うんですよ、その思い描いていたことが。

一木：振り返ってみて、そういうことってありました？

ÜSA：あると思いますね。後になって気付いたことですけど。

一木：イメトレ、思い込みって、夢を実現

するドライブにもなる。ところで、ÜSAさんの今の夢は？

ÜSA：また旅をしたいかな。パフォーマーを卒業したらまた旅に出られるかなと思っていたら「もっと頑張らなくちゃ」って感じになってしまって、どうにか1回、カリブのトリニダード・トバゴに行ってきたぐらいなんです。これからの旅は、行った場所のダンスを踊る前の旅とは違って、自分の踊りを、その土地に行って踊る旅。踊りたい場所は、まだまだたくさんあります。温めてきた『NEO ZIPANG ~ UTAGE ~』も完成したことだし、この曲を持って、いろんなところに踊りに行きたいんです。そのためにもまず、DEPを頑張りたいし、『NEO ZIPANG ~ UTAGE ~』をたくさんの人に聴いてもらいたい。3分後よりもう少し先が分かる男になりたいって思います（笑）。

最新作は、サウンドはもちろん、リズムも衣装も最高のコラボ作品。この作品と一緒にいろいろな場所を訪ね、たくさんの人と一緒に楽しい時間を過ごしたい。

一木：日本の伝統と最先端のダンスミュージックを融合させた最新シングルは、いろいろなところから注目されるのではないかと思います。例えば、2020年に迫った東京五輪。五輪では、競技以外のエリアでも、文化芸術プログラムというのがあってね、ロンドン五輪の際にはすごい数のプログラムが用意されたんですよ。日本でも少しずつだけけれど、その準備が始まっていて、日本のお祭りに注目しようという動きもあります。DEPにもオファーが来てもおかしくない！

USA：お話があればぜひっ！ですよ。すぐにでもやりたい。

一木：リオ五輪、それから東京までの4年間はDEPにとって、すごく輝けそうな時期になると思います。何か考えていることはありますか？

USA：やりたいことはいっぱいありますよ。場所とお金があれば、今すぐにでも(笑)。でも今は具体的にお話できるようなことはないかな……ただ一番やりたいのは、DANCE EARTHでフェスを作りたいです。世界の音楽、世界の料理、世界の

お酒があふれていて、国境を越えて、言語を超えて、オトコもオンナも、コドモもオトナもみんな集まって！ みんなで一緒に、踊って、歌って、食べて、飲んで!! “ダンスでアースをハッピーに。”というDANCE EARTHの想いが満ちあふれ、みんなで想いを共有できる場所を作りたい。

一木：先ほど、日本各地のお祭りを回ってきた話がありましたが、この夏は愛知県一宮市の七夕祭りに参加するそうですね。調べたら、この七夕祭りは日本三大七夕祭りの一つなんだとか。

USA：僕も初めての参加なので楽しみです。DEPからTETSUYAと一緒に何う予定で、一緒に楽しい時間を過ごしたいと思っています。

一木：『中学生 Rising Sun Project』(EXILEと二十一世紀倶楽部による復興支援交流事業)でも、いろいろな学校に出向いて、レッスンをしてもらっています。先日は、熊本に行っていたいて。

USA：ダンスの力のすごさを感じる体験でした。熊本はもちろんですが、被災地に行く時って、いつだって緊張するん

です。大変な状況なわけですし、踊ってくれるのかって。その気持ちは、何年経っても、違う場所を訪れても変わりません。それでも、手を叩いて、一緒に体を動かして。

最後には子供たちが言うんですよ、「モヤモヤが取れた」って。ダンスの力、僕はそれを信じて、踊って、いろんな活動もしてるんですけど、子供たちのあの一言、それに尽きるよなって思います。それに、回数を重ねていくなかで、うれしい広がりも出てきているんです。地元のお祭りで、僕らのレッスンを受けた子供たちが『Rising Sun』や『Choo Choo TRAIN』を踊るんだそうです。それを見て、もっと小さな子供たち、大人たち、おじいちゃんやおばあちゃんも踊る、体を動かし始めるらしい

んですよ。
一木：うれしい広がりですね。『Rising Sun』は難しいから踊れるようになると、「もったいない」って踊りたくなっちゃうらしいですよ。

USA：そうなんですか！
一木：このうれしい広がり、一緒にもっと広げていきたいですね。今月25日には、ラジオ番組『JAPAN MOVE UPE』の公開収録で岡山にも来ていただけるんですよ。
USA はい。サプライズも考えておきます。



OKAYAMA MOVE UP 総合プロデューサー 一木広治 KOJI ICHIKI
1964年3月11日、東京都生まれ。早稲田大学建築学科卒。一級建築士。2002年創刊、都市型フリーペーパー『TOKYO HE ADLINE』を発行する株式会社ヘッドラインの代表取締役社長。二十一世紀倶楽部理事事務局長 / ライオンス日本財団理事 / LDH顧問・エグゼクティブプロデューサー / ローソン・ローソンHMVエンタテインメント顧問 / USEN顧問 / モブキャスト社外取締役(2014年～2015年) / チヨダ顧問 / 総合PR会社vector (ベクトル) 顧問 / ファインシード顧問 / ベクトル顧問 / スリープセレクト顧問 / 自衛隊科学研究所顧問 / 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会事業広報アドバイザー(2011年～2013年)などを務める。2014～2016年淑徳大学人文学部表現学科客員教授。2015、2016年早稲田大学理工学部EDGEプログラム非常勤講師就任。経済産業省Next Innovator 2015、2016年サポーター。日本を元気に！ソーシャルプランニングプロデュースを中心に、様々な方面で活躍を続ける。【著書】超人脈術(主婦の友社)、人間図書館(大広)、挑戦(福家書店)【コラム連載】月刊EXILE、フジサンケイビジネスアイ【出演】JAPAN MOVE UP (TOKYO FM 毎週土曜日21:30～21:55放送中)、JAPAN MOVE UP FRESH! by AbemaTV (FRESH by AbemaTV 隔週 毎週月曜日 19:00～放送中)

Latest Information on DANCE EARTH PARTY & EXILE USA

ニューシングル

『NEO ZIPANG ~ UTAGE ~』
8月3日リリース!

サウンドやリリックはもちろん、ビジュアル、ダンスなどあらゆるアングルから、唯一無二の“NEO ZIPANG”を表現した。USAが日本の祭りを巡り始めたころから温めていたアイデアが、目まぐるしい音楽シーンにありながら、3年以上の時をかけて熟成、研磨し、完成した作品だけに、聴きどころや見どころ満載のシングルだ。楽曲を構成する要素を一挙に見て楽しんでこそ、本当の魅力に触れられるタイプの作品。「(撮影中は)関東のどこかにある森が、日本でも外国でもない場所になった」とUSAが胸を張るミュージックビデオはマストチェック!



収録は、表題曲を含み全3曲。【CD+DVD】のDVDには、表題曲のミュージックビデオを収録。【CD+DVD】RZCD-86150/B 1800円、【CD ONLY】1000円 ※価格はともに税別。

コラボした山本寛斎氏と史上最大級の「三三七拍子」

シングル『NEO ZIPANG ~ UTAGE ~』でコラボする世界的なファッションデザイナーの山本寛斎氏のライフワークでもあるショー『日本元気プロジェクト2016 スーパーエネルギー!!』が7月21日、東京・国立代々木第二体育館で行われる。豪華絢爛でダイナミック、それとともに繊細な美しさも見せてくれるショーは長きに渡って多くのファンに支えられている。そのショーに、EXILE USAも参加。自身と子

供たちを中心に結成した「TEAM 337」が、総勢500名を超える出演者、そして観客と一緒に「21世紀の三三七拍子」を行うという。

このビッグイベントに先立ち、盆踊りイベント「ISETAN BONDANCE2016」(7月1～3日、東京・伊勢丹新宿店)でもコラボしている。リリースも近づき、もしかしたらもっと“NEO ZIPANG”なコラボが見られるかもしれない?

EXILE USAのサイン色紙をプレゼント

PRESENT OKAYAMA MOVE UP Vol.21の発行を記念し、今回巻頭インタビューで登場していただいたEXILE USAのサイン色紙を3名にプレゼント。ご希望の方はOKAYAMA MOVE UPのフェイスブックページをチェック!

武尊

Takeru

K-1は、夢と希望が詰まった最高の舞台

新生 K-1 - 55kgの王者であり、今やその実力と人気で、K-1 全体をリードしている武尊。テレビのバラエティーや雑誌、ラジオなどにも積極的に出演し、格闘技ファン以外にも多くのファンを持つ。すべては K-1 をもっと知ってもらい、盛り上げるためだと語る武尊の格闘技にかける思いとは。さらにチャンピオンの先にある夢について語る。



撮影・神谷渚

K-1のチャンピオンになることを夢見て上京

テレビで見たK-1の選手に憧れて、小学生の頃から空手を習い、ずっと格闘技を続けていました。K-1に出るからにはボクシングもできなくてはと、高校はボクシング部のある高校に入学したほど。それなのに、高校に入学したら、遊びのほうが楽しくなっちゃって、いろいろやんちゃをやらかした結果、学校を辞めなきゃいけなくなった。その時は楽しかったから、別に学校をやめてもいいやって思っていたんですけど、すぐに今までやってきた格闘技を失くしてしまった事を、猛烈に後悔して…。格闘技がないと、こんなに楽しくないんだって。つまらないし、不安だし、好きな事ができない辛さを思い切り味わった。それがきっかけで逆にもう一度格闘技と真剣に向き合おうと思ったし、そこから格闘技に対する意識が変わりました。人生のターニングポイントがあるとしたら、そこでしょうね。それから、K-1甲子園に出場することを目指し、改めて高校に入り直しました。K-1甲子園の出場資格が高校在学者だったので。それぐらいの思いがあり出場したのに、K-1甲子園では負けてしまったんです。勝つために高校を少し休んで、タイに武者修行に行くなど、本当にそれだけにかけていたのに、蹴り数制限のルールによる減点で負けた…。そこで優勝して、実力を認めてもらってK-1に

行こうと思っていたので、これ以上アピールするチャンスがなくなったと思ったら悔しくて悔しくて…。それで、本部席に行き、当時K-1甲子園の実行委員長をされていた前田憲作さんに向かって、泣きながら“僕はこんなに弱くないんです。もっとできるんです。まだ全然実力を見てもらえません”って言った(笑)。そしたら前田さんが“うちに来たらもっと強くなれるよ”って言ってくれて。それがすごく心に響いて、その瞬間に東京に出て、前田さんが代表を務めていたジム“チームドラゴン”に入門するって決めました。そこからは東京に出るためのお金を貯めて、卒業した次の週には東京にいましたね。それからほとんど毎日練習で、家には寝に帰るだけ。試合後のオフはなるべくメディアの活動をして、K-1の価値を広めたいと思っています。僕がK-1に夢を与えてもらったように、たくさんの人にK-1の素晴らしさを通じて夢を与えたい。そのためには、K-1の魅力をもっともっと知ってもらわないと。ほかにも選手はたくさんいますが、僕じゃないとできないと思っているので。自信？それはこういう仕事をしている時点で、ポジティブですから。小さい頃から目立ちたがり屋だったし、ある意味ナルシストだし(笑)。チャンピオンとして、そういう自覚も多少ついてきたかなと思っています。

K-1の中でも一番輝いて、一番面白い試合を僕がします。 そして誰もが憧れるスーパースターになります。

プラスに思い込む事でポジティブに

落ち込む時は落ち込みますが、僕はそれを逆にバネにする事が多いかな。昨年、試合で1回ダウンを取られたんです。普通の選手だったら、“ヤバい、どうしよう”って焦って、悪いほう、マイナスのほうに考えてしまうと思うんですけど、僕は“でも、これを倒し返したら相当カッコいいだろうな”ってずっと考えていて…。結果、逆転KOで勝ったんですけど、プラスに考えているとそっちのほうに持っていかれるっていうことはあると思います。引き寄せの法則なんかでもありますが、自分で決め込んだ事や思い込みからそっちの方向に行くとか。僕は気持ちがあつて大事だと思っているので、なんでもプラスに考える事で、物事もいい方向に進んでいくと思っています。また、落ち込んだ時は逆に動いたほうがいい。ずっとそこにとどまっていたも何も変わらないし、何かアクションを起こすことで、何かが変わるかも知れない。

落ち込んだ原因を解決するような動きでもいいし、それは忘れて、新しい事を頑張るのもいい。何をやったらいいかわからない時は、単純に動くだけでもいいと思います。落ち込んだ時にずっと家に閉じこもったりするのは一番良くないと思うので、僕もちょっと嫌な事があつたら走りに行くとかしますね。体を動かすだけで、気分は変えられると思います。

あと、自分は試合前はとことんストレスをため込んで、試合で爆発させます。本当につらいんですが、これだけきつい思いをしてるんだから、絶対に勝てるし、勝った後は、絶対いいことがあるっていうのを想像する。妄想癖があるので、試合でKO勝ちして、お客さんにキャーキャー言われて、リングを降りたら、すごい人ばかりで、かわいい女の子が“武尊選手！武尊選手！”って言うのを想像してテンションを上げています(笑)。

最終目標はスーパースター

現在K-1の-55kgのチャンピオンですが、最終目標はそこじゃない。もちろん、チャンピオンとして勝ち続けるとか、もっといろいろなベルトを獲っていききたいというのはあるんですが、その先には、SPなしでは外を歩けなくなるぐらいのスーパースターになりたい。そして格闘技以外のジャンルの人にもすごいと思われたいです。格闘技ってちょっと特殊なので、格闘技だけが好きっていう人も多いです。

でも野球やサッカーなどの人気のあるスポーツのファンの人やスポーツ以外の音楽や映画、バラエティーといったジャンルの人にも格闘技に興味を持ってほしい。今K-1は本当に盛り上がり面白いです。でもそれが一般の人にまだ広がっていない気がします。K-1は夢と希望が詰まった最高の舞台です。それを広めるためには、自分ももっとメジャーになり、影響力を持たないといけないと思っています。

岡山の読者へメッセージ

僕の地元、鳥取県の米子市からは、車で2時間かからないぐらいなので、岡山にはよく遊びに行っていました。今も知り合いがいて、応援してくれているので、岡山には親しみがありません。印象に残っているのは美星町。その名の通り、星がすごくきれいな所。岡山は自然が豊かで、食べ物おいしい。K-1の試合は東京で行われているので、岡山から見に来ることはなかなか難しいと思いますが、今はインター

ネットやCSなど、生中継で見られる環境もありますので、ぜひ一度見てほしい。そこでパワーを感じて、見た人が元気になっていただければうれしいです。そしてインターネットで見た人が、やっぱり生で見たって思ってくれて、会場まで足を運んでいただいたら、最高ですね。今盛り上がりつつあるK-1の中でも、僕が一番輝いて、一番面白い試合をしますんで、ぜひ応援して下さい。



武尊(たける)
1991年7月29日生まれ、鳥取県米子市出身。小学校2年の時に、テレビで見たアンディ・フグに憧れ、空手道場へ入門。その後、高校でボクシングを始め、2009年、K-1甲子園へ出場。2010年、高校を卒業すると同時に、K-1ジム・チームドラゴンへ入門。2011年「Krush」に参戦。2013年、初代Krush -58kgの王者に。2014年には新生K-1に参戦。初代K-1 WORLD GP -55kg王者。K-1ジム・チームドラゴン所属。ツイッター：@takerusegawa

撮影・上岸卓史



闘いの舞台はスクリーンへ! 『HIGH&LOW THE MOVIE』7.16公開

日本テレビとLDHが共同で立ち上げ、ドラマ、配信、コミック、SNS、オリジナルベストアルバム、ドームツアー、そして映画と、数多のメディアやエンターテインメントを巻き込み展開する、世界初のビッグプロジェクト「HIGH & LOW」。その軸となる映画『HIGH&LOW THE MOVIE』がついに公開! 完全オリジナルで展開するストーリー、SWORD地区で巻き起こるそれぞれのチームのプライドをかけた壮絶なバトル、そしてその裏に秘められた彼らの友情、絆…。ドラマシーズン1、シーズン2で描かれた数々の闘いが、今ここに集約!

EXILE TRIBE が新たに挑んだ超ビッグプロジェクト

“全員主役”のコンセプトのもと、とある地区の覇権をめぐる闘いを軸に、登場人物それぞれが葛藤を抱えながら成長していく姿を描く、究極の青春ストーリー!

AKIRA、TAKAHIRO、青柳翔、登坂広臣、岩田剛典、鈴木伸之、町田啓太、ELLY、白濱亜嵐ら絶大な人気を誇るEXILE TRIBE 総出演に加え、窪田正孝、林遣都、井浦新、YOU、小泉今日子ら実力派俳優陣が集結。また、メンバー揃っての映画出演はこれが初めてとなるゴールデンボ

ンバーの怪演も見逃せない。さらに日本映画初出演となる人気グループBIGBANGのV.Iも登場。企画プロデュースを務めるEXILE HIROのもと、劇場版にふさわしい豪華メンバーが集結した。

ドラマでも話題となっていたアクションシーンもスケールアップ。映画ならではの迫力のアクションシーンが展開される。ドラマで描かれてきた、SWORD地区を巡る闘いと友情の物語が、真のクライマックスを迎える!

伝説の男の帰還がもたらす、新たなる闘いの物語

映画の物語は、ドラマ『HIGH & LOW ~ THE STORY OF S.W.O.R.D ~』シーズン2で明かされた、伝説の男・琥珀が、SWORD地区に戻ったことから幕を開ける。かつてはSWORD地区を席卷しながらも、ある悲劇によって、表舞台から姿を消した琥珀。し烈な闘いの末、それぞれのメンバーたちにも変化が訪れいったん

は均衡を取り戻したかに見えたSWORD地区だったが、覇権復活を狙う琥珀によって、再び闘いの嵐が吹き荒れることに。過去の友情が揺らぎ、新たな絆が生まれるなか、SWORD地区に訪れる、かつてない危機。いままでぶつかり合ってきたSWORDたちがついに一つになる…。

ドラマ『HIGH & LOW ~ THE STORY OF S.W.O.R.D ~』シーズン1 & 2をおさらい!

【シーズン1 あらすじ】

かつて、ムゲンという伝説のチームが圧倒的な力でこの一帯を支配していた。ムゲンに唯一、屈することなく渡り合っていた雨宮兄弟とし烈な闘いを繰り返していたが、ある事件をきっかけにムゲンは解散、雨宮兄弟も姿を消した。その後、その地区に5つの組織が頭角を現した。各チームの頭文字をとってSWORD地区と呼ばれるようになったこの場所の覇権を狙い、かつてない闘いが勃発する!

【シーズン2 あらすじ】

物語は過去へとさかのぼる。そのころ、琥珀と幼少のころからの親友・達也はともにバイク好きだったことからムゲンを作る。次々と仲間たちも加わるが、達也は自分の夢だった洋食屋を開くため脱退を表明。仲間たちが達也を応援するかたわら琥珀は複雑な思いを抱えていた。しかし極悪なスカウトチーム・ダウトにとらわれていた女・セイラが存在をきっかけに、運命が回り始める…。





CHARACTERS OF HIGH&LOW

【SWORD】山王連合会…山王街の二代目喧嘩屋／White Rascals…白ずくめのスカウト集団。傷ついた女性たちを守ることを信条とする／鬼邪高校…全国から札付きの粗暴者が集まる高校／RUDE BOYS…天涯孤独の者たちが集まる無名街の守護者／達磨一家…ムゲンの流れを汲む山王連合会に復讐を誓うグループ／【その他の組織】ムゲン…かつてこの一帯を支配していた伝説のチーム／雨宮兄弟…ムゲンが唯一支配できなかった凶悪な兄弟／張城…SWORD 地区支配を目論む韓国組織／九龍グループ 家村会…9つの組織からなる九龍グループの一つ。SWORD 地区を狙う／MIGHTY WARRIORS…音楽やファッションへのリスペクトを軸に自分たちの理想郷設立を目標とするグループ。

ムゲン



組長 琥珀 (AKIRA)



九十九 (青柳翔)



李 (V.I)

九龍グループ 家村会



会長 家村龍 (中村達也)



二階堂 (橋ケンチ)

雨宮兄弟



雨宮雅貴 (TAKAHIRO)



雨宮広斗 (登坂広臣)

S 山王連合会



組長 コブラ (岩田剛典)



ヤマト (鈴木伸之)

White Rascals



Leader ROCKY (黒木啓司)

O 鬼邪高校



番長 村山良樹 (山田裕貴)



轟 (前田公輝)

R RUDE BOYS



Leader スモーキー (窪田正孝)

D 達磨一家



頭 日向紀久 (林遣都)



ICE (ELLY)

MIGHTY WARRIORS



バーニー (白濱亜嵐)

SWORD をとりまく人々



龍也 (井浦新)



ナオミ (藤井萩花)



BAR 小竹のママ (小泉今日子)



寿子 (YOU)

『HIGH&LOW THE MOVIE』7月16日全国公開!

STORY: 山王連合会、White Rascals、鬼邪高校、RUDE BOYS、達磨一家という5つのチームが拮抗していることから、その頭文字を取り「SWORD 地区」と呼ばれる場所に、伝説の男が帰ってくる。それは SWORD が頭角を現す前にチーム・ムゲンを率いていた男・琥珀。ギリギリの均衡を保っていた SWORD に、新たな闘いの火ぶたが切って落とされる…!

監督: 久保茂昭 / 松竹配給 / 7月16日より全国公開
http://high-low.jp
©2016 『HIGH&LOW』 製作委員会



THANKS! MANY MANY HAPPY SMILE

～たくさんの笑顔をありがとう。そしてこれからも皆さんの毎日が、優しさで笑顔で溢れますように～





PHOTO REPORT

JAPAN MOVE UP special edition vol.8

special guest 岩田 剛典 EXILE/三代目 J Soul Brothers

2016.5.19 at イオンシネマ岡山



今回のラジオ公開収録は映画「植物図鑑 運命の恋、ひろいました」のプロモーションとして OKAYAMA MOVE UP と連携して開催されました。今回応募1万5000通の中、幸運のチケットを手に入れた400名で埋め尽くされた会場は開演前から熱気が漂い笑顔があふれていました。今回はそんな会場の雰囲気少しでも皆さんに感じていただければと願いながら写真を選ばせていただきました。

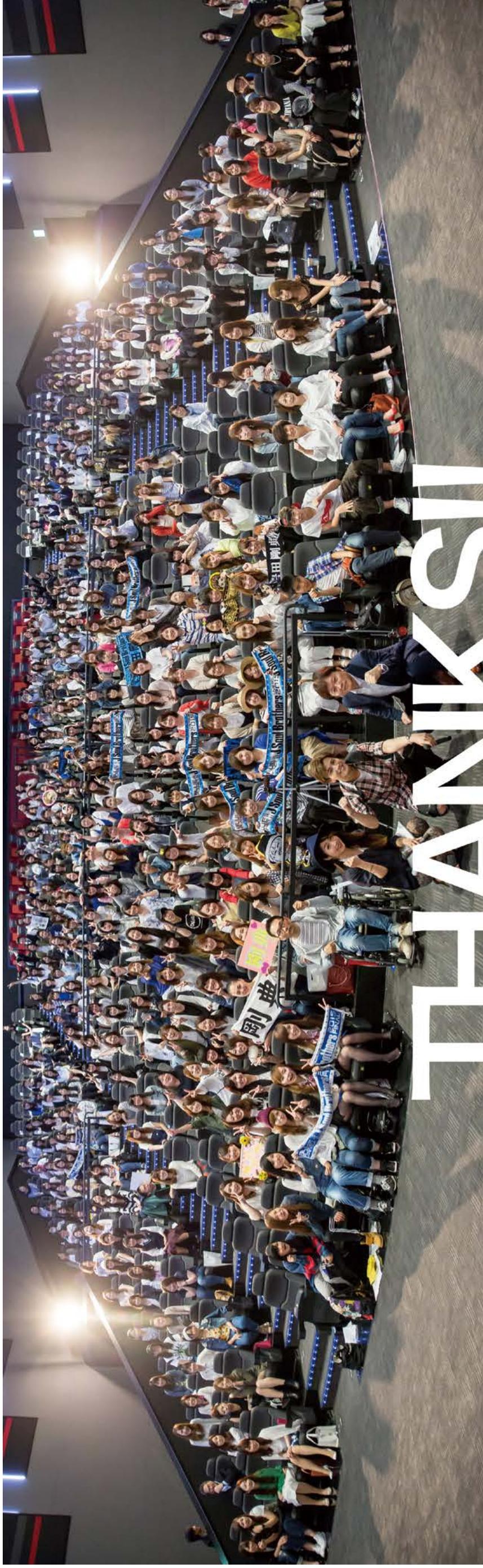
また当日は大きな混乱もなく、本当に皆さんがマナーよくルールを守っていただいたことで、イベントが成功できたと実感しています。

映画も大ヒットし、本当に皆さんに感謝いたします。

これからも皆さんが笑顔でいられるようなイベントをどんどん開催していきますので OKAYAMA MOVE UP の活動をこれからも応援してください。本当にありがとうございました。

OKAYAMA MOVE UP チーフプロデューサー 源 真典





THANKS!!

MANY MANY HAPPY SMILE

～たくさんの笑顔ありがとう。そしてこれからも皆さんの毎日が、優しさと笑顔で溢れますように～



OKAYAMA MOVE UP PRESENT'S

MOVE UP MUSIC

powered by



人生が「アがる」一曲を、あなたに。

vol.7 働くあなたへ贈る、応援ソング

この曲を聴くとなんだか前向きになれる曲ってそれぞれあると思います。音楽の持つパワーはすごい。

疲れたときに、踏ん張りたいときに、仕事を頑張るあなたに向けた応援ソング集めてみました。

前向きになれる曲を聴いてまた明日から張り切っていきましょう！



Album Title

DREAMS COME TRUE THE BEST! 私のドリカム

Airtist

DREAMS COME TRUE

Comment from TSUTAYA

ドリカムの曲で前向きになれる曲は多いですが、特に“何度でも”がおすすめ。歌詞をじっくり読みながら、聴いてほしい1曲。くじけそうになったときに立ち上げられるパワーをもらえます！



Album Title

ケツノポリス7

Airtist

ケツメイシ

Comment from TSUTAYA

なんととっても“トレイン”がおすすめ。“夢見る限りレールは伸びる 加速するたび不安もよぎる 今何処で何処へ向かっているかは分からなくていい 夢詰まっている”という歌詞が前向きになっておすすめです！



Album Title

歌うたい15 SINGLES BEST 1993~2007

Airtist

斉藤和義

Comment from TSUTAYA

“歩いて帰ろう”この曲を聴くと思わず歩いて帰りたいくなる。頑張すぎて疲れたときの気分転換にピッタリな爽快感溢れる1曲です！



Album Title

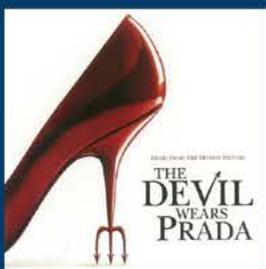
SPARK

Airtist

moumoon

Comment from TSUTAYA

“Sunshine girl”が特におすすめ。“口角きゅっと上げてその分だけラッキーとハッピーに近づいてる”という前向きになれる歌詞にキラキラサウンドと柔らかいボーカルがマッチしたHAPPYな1曲です。



Album Title

ブラダを着た悪魔

Airtist

洋画サウンドトラック

Comment from TSUTAYA

映画『ブラダを着た悪魔』の挿入歌に起用されていた「Suddenly I See」がおすすめ。映画の持つポジティブな空気にぴったりな曲でこの曲を聴くと自然と仕事頑張ろう！と思えます。映画とセットでおすすめです。



Album Title

The Best "Ultra Pleasure"

Airtist

B'z

Comment from TSUTAYA

“Ultra Soul”この曲を聴くと、水泳のイメージが出てくる人が多いと思いますが、歌詞をじっくり聴いてほしい！自分のために頑張る！私頑張れ！という気持ちになれるこれからの季節にぴったりの爽快な1曲です。



Album Title

ZARD Forever Best ~25th Anniversary~

Airtist

ZARD

Comment from TSUTAYA

“負けないで”この曲を聴くと思わず走りたくなる！そして走りきらないと！ゴールまで！！と自分を奮い立たせる時にぜひとも聴いてほしい1曲です。



Album Title

ALL TIME SINGLES ~SUPER PREMIUM BEST~

Airtist

THE BLUE HEARTS

Comment from TSUTAYA

“人にやさしく”この曲は、作成した当時の曲名は「がんばれのうた」だそうで、曲名の通り、とにかく元気になれる曲。この曲の「ガンバレ！」という歌詞に勇気付けられること間違いなし！



Album Title

ONENESS

Airtist

miwa

Comment from TSUTAYA

“faith”が特におすすめ。“未来に期待描いた 希望走り出せ 迷ってるくらいなら進めばいい”という前向きになれる歌詞にアップテンポなサウンドと力強いボーカルがマッチした元気になれる1曲です。



Album Title

LEO

Airtist

家入レオ

Comment from TSUTAYA

「変わらないものを持ち続けられれば、自分らしく生きていける。」というメッセージに若い強いパワーを感じます。なによりも、まっすぐで突き通っているのにパワーのある声とポジティブな歌詞に勇気付けられます！



photography: 宗村 和磨 (NEMURA FILMS) place: 奉還町商店街

れべぜん おかやま

-ALL MADE OKAYAMA-

vol.9 『岡山の本物を全国、世界へ発信したい』

アーティスト活動・アパレル・BAR・イベントプロデュース業など、多岐に渡り活動を行うBAZ-KがMCとなり、毎回様々なジャンルの方をお招きし、岡山代表として、あらゆる視野から、“ぶっちゃけ”で対談を行うコーナー。今回は、様々なプロデュースを手がけるMC BAZ-Kが、近日新たなメディアとしてキックオフしようとしているインターネットラジオについて、本人よりその展開構想を探ります。

一本紙のコーナーと同じ『れべぜんおかやま』という番組名で、ラジオ番組をスタートすることなのですが、まずなぜラジオ番組を始めようと思ったのでしょうか？

BAZ-K (以下、B) : 洋服屋をしていたころから、ずっとメディアを持ちたいと思っていて、その中でもラジオ番組を昔からやってみたくて思っていたんです。ただラジオというメディアは、わざわざその時間を目掛けて聴かないといけないというイメージがあると思うんですね。そんな中でもと画期的にどこにいても聴けるようなラジオの形



がないかなと思ってたときに、たまたまインターネットラジオというものに出会ったんです。ラジオというメディアは番組を開設する際に大きな資本がいるんですけど、インターネットラジオの場合は、電波を活用する訳ではないので、通常のラジオよりは低コストでスタートができるんです。もともとインターネットラジオのスキームには興味を持っていて、自分自身でも行おうと思っていたんですが、この度、岡山の奉還町にインターネットラジオの放送局が出来るということで、一度説明を聞きに行くと自分のやりたいこととすごく合致をしたので、このタイミングでスタートをすることになりました。

—この度、奉還町にできた『ゆめのたね放送局』はどういった放送局なのでしょうか？

B : 人の夢を応援するラジオ！ということで、『ご縁・応援・貢献』という3つを基本コンセプトとして持つ放送局です。自分自身も今まさに

そこを大事にして日々活動しているので、すごくその部分にじっくりきたんです。自分はもっとストリートな感覚なので、色は少し違うんですけど、根本的な感覚はすごく近いと感じています。また、ゆめのたね放送局さんは、インターネットラジオというメディアをいかに発信していくかというしっかりとした戦略ももちろん持っていて、その戦略と一緒に勉強できるということにもすごく魅力を感じています。

—BAZ-Kさんはなぜメディアも持ちたかったのでしょうか？また今後メディアをどんな風に活用したいのでしょうか？

B : 『何かを伝える』というときに、様々な伝え方があるんですが、例えばテレビになると、どうしても映像に注視してしまったり、YOUTUBEなどのネット映像だといつでも見れてしまう。

でも**ラジオというメディアは**、時間を買ってもらえる感覚で、放送時間を目掛けて、

わざわざ聴きにきてもらうというスタイル

に個人的に興味があったし、魅力を感じているんです。また、メディアも持ちたい一番の理由としては、単に話をしているでもそこで話が終わってしまったり、化学反応を起こしにくいんです。今は『れべぜんおかやま』の紙面をやらしてもらっているんですけど、それをもっと不特定多数の人、いわゆる県外の方や、世界に発信していく方法がないかと考えたときに、それはやっぱりテレビかラジオで、現実的なところで考えると、今はラジオというメディアを活用することがベストだったんです。



—BAZ-Kさんはラジオのパーソナリティーとして活動することになるんですが、番組内でゲストの方からどんなことを聴き出していきたいですか？

B : ラジオ番組のコンセプトはこの紙面と同じで、“岡山を応援する”ということには変わりはないので、岡山にいる県内の方、県外の方に変わらずスポットを当てていきたいと思っています。ただラジオ番組では、



ゲストの方の作り

たい番組を作ると

いうこともコンセプトとしてあるので、

どういった番組作りをしていくというよ

りは、30分という番組の中で、如何にゲストの方にパフォーマンスをフルに発揮してもらい、そして如何に発信したいことを伝えるか、ということを考え番組を作りたいですね。なので自分自身もゲストの方のパフォーマンスを如何に発揮してもらうかを今勉強しています。通常のラジオ番組はある程度の番組構成が決まっていますが、簡単な打ち合わせを行って収録をすると思うんですけど、そうではなくしっかり事前の打ち合わせを行いながら、ゲストの方の伝えたいことをしっかり伝えられる番組を作りたいですね。

—出演するゲストの方から見たこの番組の魅力は何なのでしょうか？

B : この番組は、ラジオ番組に出演したことや、番組を聴いてもらうということが最大の魅力

ではなく、

個人や、会社の新たなプロモーションツールとして活用できることです。

ラジオ番組に出演してそこで終わりではなく、収録した音源をゲストの方が購入できるプランがあるんですね。例えばその音源を名刺代わりにお客さんへ配布したり、企業の新人研修や企業説明会などで配布したりと活用場所は様々だと思うんですが、**1つの武器、コミュニケーションツールとして、さらに活用できる**ことが非常に魅力に感じていただけるのではないかと考えています。なので、如何にゲストの方の伝えたいことをしっかりと伝えられる番組にしていきたいかに注視しています。

—これからどんな番組にしていきたいですか？

B : まずはゲストの方が一番伝えたいことをしっかりと伝えられる番組にしたいですね。あくまでこの番組は1つの中継地点みたいに捉えてもらい、活用してもらいたいですね。テレビやラジオだと、コーナーみたいなものがあるって、コーナー主張が強いんですけど、そうではなくて、ゲストの方に来てもらって、ゲストの方の特集番組を制作するようなイメージです。もちろん番組なので、ブランドは作っていかないといけないし、自分がパーソナリティーをやることで聴いてくれるリスナーも作っていかないとけません。でもそれはこちらのやるべきことなので、ゲストの方とはとにかく伝えたいことを持ち込んでいただき、共にブラッシュアップしながら、最大限のパフォーマンスを生み出せる番組にしていきたいです。

ゆめのたね放送局 岡山スタジオ
〒700-0026
岡山県岡山市北区奉還町 2-5-15
【HP】 <http://www.yumenotane.jp/>

れべぜんおかやま 公式ブログができました!!
今回の内容はもちろん、過去のれべぜんおかやま

是非ブログで!!

<https://represent-okayama.amebaownd.com>





Album.
1st EP -130 MOOD : TRBL

Artists.
Dean(Korea)

Comment from HMV

EXOへの楽曲提供で注目を浴び、アメリカでの先行デビューを経て、2015年に韓国でデビュー。この作品には収録されていないが、少女時代テヨンや人気女性ラッパーHeizeとのコラボ楽曲も要注目！スタイリッシュで雰囲気のある楽曲が魅力。しっとり、大人な夏のひとつときにオススメ。



Album.
PUZZLE

Artists.
TAHITI 80

Comment from HMV

93年結成された、フランスのギターポップバンド“TAHITI 80”Vo. 何とも言えない切ない歌声とポップだけど心地よい爽やかなメロディーは夏の季節にピッタリです。ドライブに、お部屋でのんびりする時どんな場所でも聴いていただきたい1曲です。

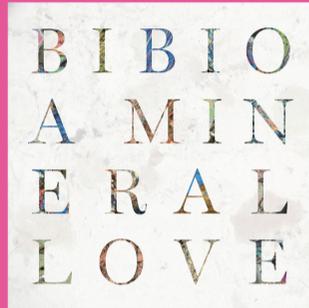


Album.
百鬼夜行

Artists.
己龍

Comment from HMV

アガズニハイレナイ！己龍、待望の最新アルバム！！和製ホラーを唄った彼らが作り上げる今作は、“百鬼夜行”の名に相応しくメンバーが妖怪を模した衣装に身を包み、世界感を表現。怖い？素敵！？収録曲の百鬼夜行、九尾はMVも夏にぴったりなのではないでしょうか。



Album.
A MINERAL LOVE

Artists.
Bibio

Comment from HMV

イギリスのレーベル(Warp)所属の“Bibio”カセットや壊れたサンプレーなどを使った奇妙なレコーディングによる独特なサウンドは虜になること間違いなしです。森や川などの自然を思い出させるような、落ち着いていてオシャレなサウンドは夏の夜や散歩にピッタリな爽やかな楽曲です。



Album.
famfam

Artists.
never young beach

Comment from HMV

音源を再生したとたん、目の前に広がる白い砂浜と真っ青な海、思わずそんな景色が見えてきそうな、こちょよ〜いギターサウンド。若い人には新しく、お父さんたちにはどこか懐かしい。“日本の歌”のDNAを感じてください。ネバヤン初のカバー楽曲、高田渡の「自転車によって」収録。



Album.
THE GETAWAY

Artists.
Red Hot Chili Peppers

Comment from HMV

前作から約5年ぶりの11枚目のアルバムがついに発売！レッチリ史上最高にポジティブなケミストリーを感じる前人未到の新次元ロック！！フジロックのヘッドライナー3回、2007年に初のドーム・ツアー他、サマーソニック2011のヘッドライナーの来日を含め今までに10回来日。ヤバすぎ、スゴすぎ、大傑作！！の1枚です。

毎回、各テーマに沿った「アガる音」をご紹介します！是非、チェックしてみてください！！

MOVE UP! SOUND

いい音に出逢えば、毎日がアガる。

powered by **HMV**
the music & movie master

vol.7

『この夏はこれでアガる! 2016サマーソング!』

もう季節は段々と夏に近づいてきましたね。

HMVがオススメする、この夏アガれる曲を色々なジャンルから取り揃えてみました。

外でアガるのもよし、家でアガるのもよし、お気に入りの1枚を見つけて盛り上がりましょう！！



Album.
HiGH&LOW ORIGINAL BEST ALBUM

Artists. V.A.

Comment from HMV

EXILE TRIBE所属アーティスト総出演。『HIGH&LOW』オールスターによるベスト・アルバム！！国内、海外から超豪華アーティストらの楽曲によって彩られる『HIGH&LOW』の世界を、余すことなくすべて音楽で体感できる！！この夏の最重要アイテム。ドラマを見てても見てなくても、ブチアゲ間違いなし！！



Album.
BASIN TECHNO

Artists.
岡崎体育

Comment from HMV

京都出身、関西をベースに活動するソロ男性アーティスト「岡崎体育」のメジャーデビューアルバム。自らの音楽を出身地に因んで「BASIN TECHNO(盆地テクノ)」と命名。その唯一無二な独創的ライブ・パフォーマンスがロコミで話題を呼び、若者を中心に中毒者が急増中！これはアガります！！



Album.
STILL WATERS

Artists.
BREAK BOT

Comment from HMV

今大注目のフランス出身のプロデューサー“BREAK BOT”フレンチエレクトロポップやファンクテイストにあふれ、どこか懐かしさもあるディスコサウンドは踊り出さずにはいられません！一度聴くと忘れないキャッチーなメロディーは中毒性たっぷりです。暑い夏はこの曲を聴いてオシャレに踊りましょう！



Album.
Man About Town

Artists.
Mayer Hawthorne

Comment from HMV

黒縁メガネでナードな印象、白人ながら70sソウルを体現する音楽スタイルで各方面より高い評価を得るソウル界の至宝＝メイヤー・ホーソーン約3年ぶり通算4作目となるオリジナル・アルバム。フィリー・ソウル・ベースのサウンドや、Tuxedoからの流れとも言うべきディスコ〜ブルー・アイドソウルのサウンドも満載。懐かしくもアガります！

DREAM ARTIST

1st シングル「雨」発売中!
二度と繋がれない君を想い続ける…もう叶わないと
わかっていても。儂くも切ない極上のバラードソング。
【価格】3曲入り ¥1000 (税込)
Ameba : <http://ameblo.jp/0912yosuke1225/>
facebook・Twitter・Instagram : 玉川洋輔で検索



Vol.12 福井 相奈

「努力するのは嫌いだけど……努力はします。でもしたことはすぐ忘れちゃうんです」

on Her Life as an idol — 相奈のライフ — 「小5の時、マルチタレントを夢見た」

玉川：相奈ちゃんとは岡山県のとあるコンビニのイベントでお会いして、その時から何か一緒にできたらいいなってずっと思っていて…そんなささやかな夢が実現しちゃいました(笑)!

福井：すごい(笑)!

玉川：でしょ(笑)! 早速なんだけど、相奈ちゃんはアイドルとしての活動はもちろん、舞台演劇、グラビア、バラエティーに、最近ではシンガーとしてソロデビューも果たしたんだよね! 本当に幅広くマル

チに活動されていますね!

福井：何が一番好きなの? って、よく聞かれます。でも、歌も踊りも、グラビアとかも、全部好きなんです。私が飽き性だからかもしれないけど、毎回違うことができるこの仕事って、いいなあって思っています。考えてみると、私、小5ぐらいからマルチタレントになりたいと思ってたんですよ、歌手とか、女優とかじゃなくて(笑)。

玉川：それだけたくさんのかっこをこなして

いる相奈ちゃんだけに、やっぱり普段からかなりの努力はしているんじゃないですか?

福井：してるとは思いますが、努力は嫌いです。私、人一倍バカで(笑)のみ込みが悪いから、努力しないとできない。でも、やってできるとうれいすよね。その瞬間に努力したことは忘れちゃう。

玉川：努力を努力だって思わないんだ。じゃあその他になにか苦労したり、頑張っていたりすることはある?

福井：あ、プライベート! プライベートはほぼ全部捨ててる(笑)!

玉川：じゃあそんな貴重なお休みはどう過ごしてますか?

福井：録画してある深夜アニメをまとめて見て……12時間近く寝てます。完全に引きこもってる(笑)。私、しゃべりやすいし、ちょっとキャラキャラしてるイメージで見られがちですけど、こう見えて家では結構ネクラなんです(笑)。

on Her New Chapter — 相奈のこれから —

「元気と愛、勇気を届けたい」

玉川：6月には岡山県美作市、湯郷温泉の観光大使に就任されたそうですね。

福井：そうですね! 念願の、地元岡山県での観光大使です。今からとってもワクワクしています。大阪の有馬、兵庫の城崎のように、岡山といえば湯郷みたいになったらいいなって思います。そのためにも自分の言葉で、自分の取り組みや活動で湯郷の良さを伝えて、全国の人に湯郷を知ってもらいたい。もちろん岡山の人にも。

玉川：アイドルのメンバーとしては、今後、どんなことを考えていますか?

福井：もっとお客さんを楽しませたい、元気と愛、勇気を届けたい! と思っているんです。私、アイドルってすごいと思うんですよ。アイドルが歌って踊るのを見ていると、元気をもらえるじゃないですか? 自分場合はモーニング娘。なんですけど、見たあとに思うんです。楽しかった! 元気になった! って。自分が元気に楽しく歌って踊っていると、お客さんもそういう気分になるなんて、最高だと思うんです。

玉川：並行してソロ活動もありますね。

福井：自身初のシングルとなる『Never

gonna stop』に加えてもっと曲を作りたいと思いますし、他アーティストとのコラボレーションにももっと挑戦していきたいです。作詞も……いつか自分でできたらいいなと思います。

玉川：最後に、相奈ちゃんにとって、夢を叶えるために必要なことは?

福井：夢を叶えたいなら、私は、まず自分の好きなことをとにかくやることだと思うんです。最初は絶対楽しめますから。そこからいろんなことをやっていくんですよ。自分が好きじゃないことでも、やってみると楽しくなってきます。やった自分はどいうなったか、1年前とは違ってる。それが必ずモチベーションにつながりますから。



福井相奈 (ふくい・かなな)

1992年11月6日生まれのAB型。岡山県出身。アイドルグループ、ボンパンwktk、メイツ、バンキング隊に所属し活動を展開する傍ら、2016年4月に1stシングル『Never gonna stop』を配信限定でリリースし、ソロデビュー。同月、岡山県のシンガーソングライター吉永拓末の2ndアルバム『フレンドシップ』の収録曲『キモチ』にデュエット参加。2016年6月には湯郷温泉観光大使に就任した。

『Never gonna stop』は好評配信中!

1stシングル『Never gonna stop』はiTunes、レコチョク、Amazonで配信中。

吉永拓末の『フレンドシップ』CD盤は、LIVE会場などで販売中。6曲入り1500円。レコチョク配信もしている。

最新の活動情報、メディア出演情報は、【福井相奈】で検索!

Ameba (公式) <http://ameblo.jp/kanna-fukui/>

Instagram https://www.instagram.com/kanna_fukui33/

Twitter <https://twitter.com/kannyan33>

Facebook <https://www.facebook.com/kqppun>

盛り上げちやるけん!! 岡山県。



**TEAM
2020**
- OKAYAMA MOVE UP -

初代メンバー募集中!!

OKAYAMA MOVE UP 大学生チーム始動!!

◎TEAM2020 -OKAYAMA MOVE UP- とは?

「若者から日本を元気に!」を合言葉に、昨年7月に創設された学生ネットワーク。そこで2016年5月より岡山でも学生チームを設立しました! 「若者から日本を元気に!」ということで、岡山の大学生のみなさんにお集りいただき、OKAYAMA MOVE UPと一緒に「岡山から日本を元気に!」する活動を行っていきたくと思っています!
各種イベント運営・企画、フリーペーパーの制作、地域貢献活動など、多岐に渡る活動をしていきます。そこで、今回の第1回目となる学生ページは、OKAYAMA MOVE UP公式Facebookより募集を行い参加してくれた大学生のみなさんをご紹介します!



井上 陽香 (岡山大学)

◎ 岡山から日本を元気にするために
私は岡山県民ではないのですが、岡山県民でないからこそ、違う視点で岡山を広めていきたいです。
① 参加を考えている人へ
「晴れの国」や「桃太郎」だけではない岡山を大学生の力で一緒に見つけていきませんか?



岡 まりな (ノートルダム清心女子大学)

◎ 岡山から日本を元気にするために
OKAYAMA MOVE UPの活動を知って、私も岡山を盛り上げていきたいと思いました!
① 参加を考えている人へ
岡山をもっと元気な県にしていけるように、大学生が頑張ります! 岡山が好きの方、岡山を元気に元気ある県にするために一緒に活動しましょう!



國安 快 (岡山商科大学)

◎ 岡山から日本を元気にするために
自分の住んでいる岡山を、全国の人たちに知ってもらい、足を運んでもらえるようになります!
① 参加を考えている人へ
今以上の好奇心!
大学生ならではのアイデアで、岡山を盛り上げていきましょう!



景山 美波 (ノートルダム清心女子大学)

◎ 岡山から日本を元気にするために
大学生だからこそ出来る発想で、岡山をもっと好きになってもらえるように頑張ります!
① 参加を考えている人へ
まずは私たちから岡山の良さを発見し、岡山を元気にしていきます! 全国に岡山の良さを知ってもらうために一緒に活動しませんか?



新田 祥子 (岡山大学)

◎ 岡山から日本を元気にするために
岡山を元気に、盛り上げるために県内だけでなく、全国に岡山を印象づけていきたいです!
① 参加を考えている人へ
岡山と聞いて、どんなイメージが浮かびますか?
桃? 晴れの国? 岡山がどんな所なのか、これから一緒に作っていきませんか?



山本 凌 (岡山商科大学)

◎ 岡山から日本を元気にするために
岡山をより元気に周りの方から好かれる場所にしていけるため、様々な事に挑戦していきたいです!
① 参加を考えている人へ
何事も挑戦!
大学生だから出来る事を一緒に考え、挑戦してより楽しい大学生を送りませんか?

初代メンバーの登録方法はコチラから!!

TEAM2020-OKAYAMA MOVE UP-では、活動と一緒に盛り上げてくれる大学生の皆さんをお待ちしています!!

各種イベント運営、フリーペーパー制作など、エンターテインメント、社会的活動に興味がある大学生のみなさん! お気軽にご参加下さい!

《応募方法》

(1)お名前 (2)郵便番号/ご住所
(3)電話番号 (4)大学名/学部/回生

OKAYAMA MOVE UP公式Facebookメッセージより上記必要事項をご明記の上、お気軽にご応募ください。

※個人情報に関しては、活動以外の目的には一切使用いたしません。

Facebook



@JapanMoveUpFromOkayama

Twitter



@team2020_omu

DANCEの道

EXILE TETSUYA “男を上げる” Monthly Column supported by ANGFA

第47回

「超 YEAH!!YEAH!!YEAH!!」

これを知る者は
これを好む者に如かず
これを好む者は
これを楽しむに如かず…

最近こんな言葉と出会いました！ どんなことでも楽しむことが BEST で、知ってようが、好きでようが、楽しんだ人には勝てないですね！

近頃、毎日をとんでもなく楽しませていただいております（笑）。確かにやるべきことがたくさんあって目が回るような忙しさではありますが、もっと忙しくしている人もいますし、“自分はまだまだだなあ”と、感じることが多々あります。しかし、やるべきことがたくさんあるからこそ学びもたくさんあって、初めてやることはもちろんですが、DANCE パフォーマンスにしても、“日々勉強だなあ”と思わされるとワクワクして仕方ないです！

先日発表されましたが、EXILE THE SECOND の新曲『YEAH!! YEAH!! YEAH!!』が 7 月 13 日に発売されます！ 今回の曲は EXILE THE SECOND 2016 年本格始動一発目のシングルで、まさに夏を EXILE THE SECOND と一緒に最高に盛り上がることのできるアゲアゲ SUMMER チューンになっています。歌詞は

メンバーの SHOKICHI が書いたのですが、突き抜ける超 YEAH!! な感じは今までソロでも活動してきた SHOKICHI の新しい世界観を感じることができると思うので、ぜひ歌詞にも注目してほしいです！

そして今回、新しい試みとして LA を拠点にワールドワイドに活躍する振り付け師のショーン・エバリストに振り付けをしていただきました！これが自分にはものすごく刺激的で勉強することがたくさんあって、本当におもしろかったです！今まで自分で振り付けをすることは多々ありましたが、今回はショーンとこの作品のイメージや見せ方などを密に話し合っ作っていったのですが、今までの自分には無いアイデアだったり、DANCE をショーンが提案してきてくれて、何か自分の中で新しい感覚が刺激されるような経験ができて本当に楽しかったです。人間としてもダンサーとしてもコレオグラファーとしても本当にナイスガイで魅力的なショーンは、今までも LDH のアーティストの振り付けを手掛けていますが、引き続き僕らもコラボしていきたいと思っておりますので、皆さんぜひショーンをチェックしてみてください！

そんな想いの詰まったパフォーマンス

が存分に楽しめて、曲の世界観にバッチリハマった Music Video も解禁されました！夏のプールパーティーにスーパー豪華なメンバーをゲストに迎えて、撮影中でも終始楽しんじやいました（笑）。PKCZ、EXILE AKIRA、EXILE NAOTO、小林直己、Crystal Kay、三代目 J Soul Brothers から ELLY、DOBERMAN INFINITY、パルクールパフォーマーの ZEN、LA から Far East Movement、そして DANCE EARTH PARTY と、皆さん二つ返事で駆けつけてくださいました！ひと時も目が離せないほど、さまざまなシーンにふんだんに出演してくれていますので、誰がどのシーンにいるのか探してみてください！

そして続けての発表になりましたが、DANCE EARTH PARTY の新曲も 8 月 3 日に発売になります！今回もヤバいです！“新しいお祭りを作りたい！”という USA さんの長年の夢が、まずは音楽として形になりました！最新のものと古き良きものがスペシャルにミックスされた曲『NEO ZIPANG ～ UTAGE ～』。こちらの詳細も順次アップしていきますので、ぜひお楽しみに！

そんな感じで毎日楽しいです（笑）



19 歳よりダンスを始め、EXILE PROFESSIONAL GYM にてインストラクターを務める。2007 年に、二代目 J Soul Brothers のメンバーに抜擢され、2009 年 2 月 25 日に、アルバム『J Soul Brothers』でメジャーデビューを果たす。そして、同年 3 月 1 日に EXILE 新メンバーとして加入し、2011 年には、THE SECOND from EXILE としても活動を始める。また、個人活動として 2011 年に月刊 EXILE にて、自身が所長を務める『EXILE パフォーマンス研究所』の連載を開始する。2013 年、眠り of the year 2013 「ベストネムリスト」の受賞を果たす。2014 年 4 月、淑徳大学人文学部表現学科の客員教授に就任する。そして、2015 年 4 月に EXILE USA が活動を行っている DANCE EARTH PARTY の正式メンバーに選ばれる。そのほか、役者としてドラマや舞台に出演するなど、さまざまな活動を展開し、エンターテインメントの可能性を広げている。

(TOKYO HEADLINE vol.669 2016.6.27 発行号より)

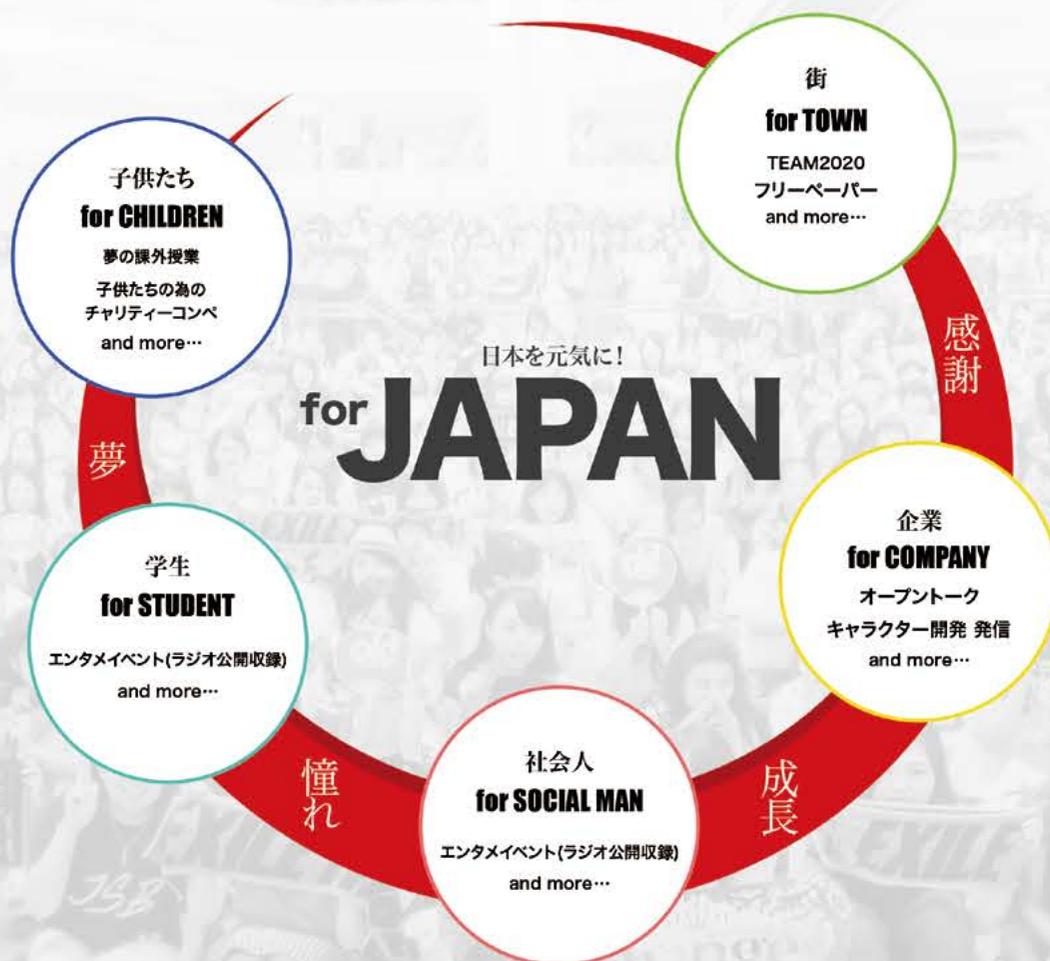
OKAYAMA MOVE UP

岡山から日本を元気に!

『岡山を元気に!』『岡山から日本を元気に!』をコンセプトに、フリーペーパーOKAYAMA MOVE UPの発行をはじめとし、各種イベントを実施するなどエンタテインメントを中心に岡山を盛り上げる活動を行っています。
この活動が意義あるものとして皆様方によりご賛同頂けるよう、「岡山県民が元気になる」「岡山県民が岡山を好きになる」「他府県の方々が岡山の良さを知ってもらう」事を目的としています。

「日本を元気にする為に、まずは岡山が元気になろう!」

その為に何が必要か?子供たちに「夢」を、若者に「憧れ」を、社会人に更なる「成長」を与え続ける...それが企業を街を発展させ、岡山を元気にしていく事だと確信します。
さらに TOKYO MOVE UP との連携による中央とのネットワークを生かしたコンテンツを創造し、若年層への「認知の拡大と巻き込み」を実現します。
また地方創生のモデルのひとつとして「社会的活動」と「エンタテインメント」、「スポーツ」の融合による岡山を元気にするプロジェクト、それが OKAYAMA MOVE UP です。



OKAYAMA MOVE UP実行委員会 加盟企業一覧 (2016年7月11日現在)



株式会社 祥 株式会社 DMM.com 有限会社ル・クルジャパン

special partner **Coca-Cola West** イオンモール岡山

54 JAPAN MOVE UP WEST

OKAYAMA MOVE UP

隔月誌【オカヤマ ムーブアップ】 2016年7月11日発行 vol.21 JULY

- 発行人／源 眞典(株式会社HEADLINE WEST) 一木 広治(株式会社ヘッドライン)
- 発行所／株式会社HEADLINE WEST
〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビルディング4F TEL:086-250-8089
- 編集・製作／株式会社ヘッドライン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-6/VILピソン3 403号

